



を超える歴史を持つクラブから、2000年以降に創部されたクラブまであります。本展では、50のクラブをできるだけかぎり網羅し、練習場などの施設や活動の有様を中心に、学生生活との関連も加えて描いてみようと考えています。展示会場を2室使い、会期を4つに分けて、取り上げるクラブを替え展示します。また、同志社が輩出したオリンピック選手たちのゆかりの資料を紹介するコーナーも設け、オリンピックイヤーを盛り上げます。

会期中に幾度か足をお運びいただき、同志社スポーツの清新さを少しでも体感していただければと存じます。

【期間】2012年7月31日(火)まで  
【時間】10時～17時  
(土・日曜日は16時まで)

【閉室日】祝日、6月4日、7月2日  
【会場】Neesima Room(今出川キャンパス ハリス理化学館2階)

【入場料】無料  
【主催】同志社社史資料センター

**新任教員紹介** 授業科目を担当する専任教員を紹介します。  
①所属(学科) ②職名 ③主な担当科目



**Kenneth, Kwan Pang CHAN**  
(ケネス クワン パン チャン)  
①言語文化教育研究センター  
②助教  
③アカデミックイングリッシュB



**竹本 知行**  
(たけもと ともゆき)  
①法(政治)  
②助教  
③政治学入門



**藤林 大地**  
(ふじばやし だいち)  
①法(法律)  
②助教  
③リーガル・リサーチ

【協賛】同志社スポーツユニオン  
【資料協力】同志社スポーツアトム編集局

会期を4つに分け、以下のテーマで展示替えを行います。

- ◆ 第1期(4月1日～4月28日)  
同志社スポーツの起り
- ◆ 第2期(5月8日～6月3日)  
球技系スポーツ
- ◆ 第3期(6月5日～7月1日)  
武道系スポーツ
- ◆ 第4期(7月3日～7月31日)  
新しいスポーツ

各クラブの足跡をテーマとした第2展示室と、オリンピックコーナーの資料も上記期間で展示替えを行います。

**本学教員の執筆図書紹介** 図書館調べ(価格は税別)

持続可能な地域実現と地域公共人材  
新川達郎 他 著 日本評論社 3,000円

食品免疫・アレルギーの事典  
市川寛 他 著 朝倉書店 1,600円

確率と統計の基礎① 増補版  
宿久洋 他 著 ミネルヴァ書房 3,800円

複数のヨーロッパ  
妹尾哲志 他 著 北海道大学出版会 3,200円

新・西洋史講義  
石坂尚武 著 晃洋書房 1,300円

犯罪と市民の心理学  
中谷内一也 他 著 北大路書房 3,200円

朝鮮史研究入門  
板垣通太 太田修 他 著 名古屋大学出版会 4,400円

入門都市政策  
風間雄男 新川達郎 真山達志 他 著 大学コンソーシアム京都 9,920円

ドウオーキン 法哲学と政治哲学  
濱真郎 他 著 勁草書房 3,300円

スポーツの経済と政策  
伊多波良雄 八木匠 横山勝彦 他 著 晃洋書房 3,000円

越境する言の葉  
佐伯順子 他 著 彩流社 6,000円

政治的リーダーと文化  
村田賢嗣 他 著 千倉書房 2,300円

福祉政策の国際動向と日本の選択  
堀橋孝文 著 法律文化社 3,200円

ランドマーク商品の研究④  
石川健次郎 編 著 同文館出版 2,800円

経済危機後の家計行動  
浦坂純子 八木匠 他 著 慶應義塾大学出版会 3,400円

管理会計・入門 第3版  
中川優 他 著 有斐閣 2,200円

憲法のレシビ  
尾形健 他 著 尚学社 3,000円

障害を問い直す  
西倉実季 他 著 晃洋書房 3,600円

国際正義とは何か  
高野久 他 著 晃洋書房 3,000円

いつも元気な人の100の習慣  
米井篤一 著 かんきつ出版 2,400円

**災害対策全書② 応急対応**  
立木茂雄 他 著 ひよこ 慶応記念21世紀研究機構災害対策全書編集企画委員会 5,714円

**災害対策全書③ 復旧・復興**  
立木茂雄 他 著 ひよこ 慶応記念21世紀研究機構災害対策全書編集企画委員会 6,190円

**戦後西ドイツ外交の分水嶺**  
妹尾哲志 著 晃洋書房 2,900円

**同志社キャラクター 八重さんグッズ続々登場!**

学校法人同志社100%出資 株式会社同志社エンタープライズでは、同志社キャラクター「八重さん」のグッズを発売中です。

●大河ドラマ放映記念切手シート (80円切手10枚セット、1,000枚限定) 1,500円

●シール 200円

●クリアファイル 1,300円

●天海の水最要級 八重さんバージョン 1,100円

いずれも同志社エンタープライズのホームページから注文することができます。八重さんグッズは今出川・京田辺両校地のエンタープライズ事務所および同志社大学生協で販売しています。

【お問い合わせ先】  
株式会社同志社エンタープライズ  
http://www.doshisha-ep.co.jp/index.html  
TEL: 075-251-1302

## 가깝고도 먼 나라 일본

일본이란 나라는 한국인에게는 가까우면서도 먼 나라라는 인식이 강합니다. 어쩌면 그렇기 때문에 일본인들과 소통을 하기가 어려운 게 아닐까라고 어렸을 때부터 생각했었습니다. 그렇지만 일본에 처음 와서 보니 나와 같은 피부색을 갖고 있고 또 한자라고 하는 공통의 문자를 쓰고 있어 이질감보다는 동질감을 더 느끼게 되었습니다.

처음 일본인들과 사귀고 어울리기 시작한 건 교환학생 제도를 통해 감리교신학대학교를 찾아온 동지사대학 신학부 학생을 만나게 되면서부터였습니다. 2011년도에 동지사에서 온 학생을 만나게 되면서 일본어 회화를 공부하기 시작했고 또 그를 통해 일본인들의 모습을 보게 되었습니다. 어쩌면 그도 역시 그 전에 동지사대학을 찾았던 한국 유학생의 모습을 보고 감리교신학대학교에 왔는지도 모르겠습니다. 그렇게 어느덧 일본이라는 나라는 저에게 한 발자국

다가왔는데, 제가 오히려 기존의 선입견 때문에 한 발자국 물러선 것은 아닌가 반성을 하게 됩니다.

이렇듯 다양한 문화와 다양한 삶을 살아가는 사람들이 저희 주변에 무척이나 많습니다. 하지만 어쩌면 우리는 다양한 가치 속에서 나의 가치만이 정답이고 나의 가치와 맞지 않는 건 틀리다는 인식을 갖고 살아가고 있는지 모릅니다. 나와 정반대의 사람들 그리고 나와 전혀 다른 배경 속에서 살아왔던 사람들을 만나는 것은 무척 힘든 일이지만 그렇기 때문에 더욱 행복한 일이기도 한 것이 아닐까 생각합니다. 1년 동안의 유학생 생활은 나와 다른 삶을 살았고 또 나와 다른 생각을 가진 사람들과 의사 소통을 하는 기회가 되었습니다. 앞으로도 동지사대학이 한국과 일본 두 나라 사람들을 연결시켜 줄 수 있는 국제적인 장소가 되기를 희망합니다.

임용섭

## 近くて遠い国、日本

日本という国は、韓国人にとって近いけれど遠い国というイメージが強いのです。だから、日本人とのコミュニケーションは難しいのではないかと子供の頃から思っていました。しかし、日本に初めて来て感じたことは、我々のような肌の色をしていて漢字を使っているため違和感はなく、同質感をより感じるようになりました。

初めて友達になった日本人は、学部間協定による交換留学の制度を利用してメソジスト神学大学にきた同志社大学神学部の学生でした。2011年に彼に会って日本語で会話をするようになり、これまで遠かった日本を身近に感じるようになりました。彼もまた、以前に同志社大学でメソジスト神学大学からの留学生の姿を見て留学したのかもしれませんが、いつの間にか日本を身近に感じているのに、これまで先入観のせいで壁をつくって

いたことを反省しています。

私の周りには、様々な人がいます。多様な価値がある中で、自分の価値観だけが正解であり、自分の価値観に合わないものは間違っているとの認識の中で私たちは生きているのかもしれませんが、自分と全く違う価値観で暮らす人々との出会いはとても大変ですが、それは幸せなことでもあります。同志社大学での1年間の留学生生活は、私とは違う人生を生きてきた人々と意思疎通する機会となっています。これからも同志社大学が韓国と日本両国の人々を結びつける国際的な場所になることを期待しています。

イム ヨンサプ  
林 龍燮

2012.4 ~ 2013.3 神学部にメソジスト神学大学との学部間交換留学生として在学 (韓国出身)



# 立川敏生さん に聞く



インタビュー  
神山 達哉さん  
〔社会学部教育学科4年次生〕

**神山** ● 現役生活お疲れさまでした。

**立川** ● ありがとうございます。

**神山** ● 2月4日の断髪式から少し時間が経ちましたが、どのような心境ですか。

**立川** ● 今は感謝の気持ちでいっぱいです。自分の場合は、本当なら昨年5月28日に断髪式を行う予定だったが、相撲界の不祥事に東日本大震災が重なり、延期せざるを得ませんでした。特に不祥事については腹立たしい気持ちもあったのですが、延びた8カ月ほどの間に、同志社の先輩や関係の方をはじめ、いろんな方々にお会いする機会がありました。皆さんに「相撲よく見てください」とか「頑張っていたね」と言っていたとき、また引退するべきでなかったのではないだろうかと思う部分もありました。温かい声をかけてくださって本当にありがたかったです。断髪式を当初の予定通り昨年に行っていたら、ありがたみは半分だったでしょう。2月になったことで同志社の方々にもたくさん来ていただけましたし、本当に感謝の気持ちしかありません。

**神山** ● 引退は、いつ頃、どのような理由で決意されたのですか。

**立川** ● 引退しようと思ったのは、十両で負け越して幕下に落ちるといいう状況になった時です。32、33歳くらいでやめていく力

## 今回の同志社人

たてかわ としお  
**立川 敏生さん**

〔1994年 商学部卒業〕

1972年生まれ、高知県出身。本名山本敏生。大学卒業後、伊勢ノ海部屋に入門し、94年3月場所、幕下付出で初土俵。プロ入り当時から大器と注目され、負け越し知らずのまま95年7月場所、いきなり西前頭7枚目で新入幕。同年11月場所では曙、貴乃花の両横綱を破り、殊勲賞と技能賞を受賞。98年11月場所から翌年5月場所にかけて、4場所連続、合計6個の金星を獲得。この記録は今も破られていない。2010年11月場所を最後に引退。最高位は東関脇。現在は、伊勢ノ海部屋付きの親方として後進の指導にあたっている。

士が多い中で、私は当時、38歳10カ月。現役の先輩がいるうちは自分も続けようという気持ちがあったのですが、すでに最年長になっていて、いつやめてもいいかなと思っていましたし、幕下に落ちること自分としてのけじめをつけようと引退を決めました。

**神山** ● 現役時代に最も印象に残っている取り組みは、横綱だった曙関との一番だと聞きました。

**立川** ● 初金星は貴乃花関からだったので、その後、曙関に勝った時はうれしかったですね。当時、曙関にはよく稽古をつけてもらっていましたが、すごく強うかというくらいでした。自分自身、曙関がいて強くなれたというところもありましたし、絶対に勝てないと思っていた相手



に勝てた、恩返しができたという喜びがありましたね。

**神山** ● 親方は現役時代の金星獲得数が歴代4位。やはり横綱戦になると燃えるものがあるのですか。

**立川** ● 金星というのは立派なことではあるけれど、手放して喜べることではないのです。なぜかという、三役から下の番付の力士が横綱に勝利することだから。三役に上がりたいというのが最初の目標だし、三役に定着したいという執着心もあります。いったん三役に上がって平幕に落ちたからの金星は、成績が悪くて番付が下がっているということですからね。特に当時は、学生時代に「東の尾曾、西の山本」とい

われた武双山関が大関で、同世代の力士も上の番付の人が多く、一步遅れている分頑張らなくてはという意識が強かった。ただ自分の場合、押し相撲で、横綱に勝つための稽古をし、相撲を取っていましたから、番付が下の人と取る時は取りこぼしも多かったのです。横綱に勝ちたい、同世代の大関に負けたくない、稽古場からそう思っていましたから、そういう相撲のスタイルだったとはいえますね。

**神山** ● 長く現役を続けられた秘訣は何だったのでしょうか。  
**立川** ● 年齢とともにやはり体力は落ちていきます。自分の体をきちんと認識してトレーニングすればいいのですが、成績が悪

くなると今まで培ったものを変えてしまわなければならない。自分より年上の人が先にやめるのは、体力の低下があつてある意味必然なのですが、5年、10年下の後輩がやめていく場合、せっかく今までやってきたトレーニング方法をがらりと変えたことでケガをしてしまうというケースがすごく多い。自分に合っているかどうかからず新しいことを始めるから、慣れない筋肉を使つて故障するんですね。実際、不調の時でも今まで通りのことをやっておけば、もう少し長く取れただろうなと思う力士もいます。私が現役を長く続けられた秘訣は、自分の体の状態を認識して無理をしなかつたことだと思います。最低限やることをやった上で、その時々に合わせて必要な稽古を増やしていく。それを心に決めてやっていましたね。

**神山** ● とても勉強になります。

**立川** ● でも学生の間は頑張らないとダメだよ(笑)。

**神山** ● 親方の学生時代のことをお聞きしたいのですが、なぜ数ある大学の中から同志社大学に進学されたのですか。

**立川** ● 私の場合、レールに乗ったというのが正解かな。相撲を始めた小学校のコーチが同志社大学相撲部出身でしたし、中学校のコーチも、高校の監督も同志社大学の卒業生。先輩も数多くいて、周りに同志社出身の人がいたのでその影響で入ったという感じですね。高校時代、同志社大学の相撲部に稽古に行つたこともあるのです

が、とてもアットホームな雰囲気、先輩たちも優しくそうだったというのも理由の一つです。

**神山** ● 僕は現在相撲部の主将として、練習の仕方なども考えないといけないのですが、大学時代の練習ではどんなことに気をつけなければいいですか。

**立川** ● 何が大事かというと、自分で合格ラインを引いて達成できるように頑張ることです。今の学生も頑張っていると思うのですが、内容を伴わなければ意味がありません。



寒梅館から今出川キャンパス新棟建設工事の様子を望む

断髪式で大谷総長もはさみを入れた(三島靖朗氏提供)



せん。そういう意味では、毎日ただ時間をかけてやるより、1週間に3・4回集中してしっかりやるほうがいい場合もあります。大相撲の世界は、強くなって成功する人は全体の5%か10%にすぎません。より努力した人が上がっていくので、努力しているけれど成果が出せないというのは、甘えだともいえます。同志社は自由な大学なので、それはとてもありがたいのですが、自分でプラスアルファを出さないと、その自由は生きてこない。まずは、自分で強くなるうと思わなければいけません。

**神山**●プロの道を選ばれたのはどうしてですか。

**立川**●実家は漁師で、小学校、中学校の時は手伝いもしていたのですが、父は大学を出て普通に会社勤めをした方がいいと言っていました。私自身、同志社に進めば企業に就職できるだろうと思っていました、実際に、1・2年次の頃は会社員にな



るつもりでした。しかし、3年次に進路を決める際、自分が一番輝けるのは何か、自分の価値を上げていけるものは何かと考へ、見つけた答えが相撲だったのです。相撲が好きだからというよりは、自分が一番輝ける舞台を仕事にしようと、大相撲の道を選んだのです。

**神山**●親方が信条とされていることは何ですか。

**立川**●できそうなことを目標にすることですね。到底クリアできないことを目標にしても仕方がありません。自分でこれをやると言いつ守らないのは嫌なのです。相撲でも、まずできること、目の前にあることを目標にして1年1年やってきました。ただ、大関や横綱になっていないので、それがいいことだったのかどうかはわかりませんが。

**神山**●最後に、学生へのメッセージとして、大学時代しておくべきと思われることを聞かせてください。

**立川**●1・2年次の時は、とにかくいろんなことにチャレンジして将来の方向性を探ってほしいですね。いろんな経験をすれば、そこからたくさん選択肢が広がってきます。人に言われてやるのではなく、まず自分がやりたいと思う状況に自分自身で動いて持つていかなければなりません。そして、3・4年次になったら、ある程度自分の状況を把握して、自分が一番輝けるものを見つけてほしい。私も今親方になって、相撲で培ったことを活かせるものがないか探していこうと思っています。楽しんでやること、いろんなところに顔を出し、多くのものを見ていきたいと思っています。

**神山**●本日は、大学の先輩であり、相撲の先輩としても尊敬する親方にお話を伺うことができて、とてもうれしく思っています。どうもありがとうございました。

## INTERVIEWER

### 自分が一番輝けるものを見つけて努力していきたい

相撲界の第一線で活躍されていた先輩なので、とても楽しみにしていました。自分は食い下りの相撲で、押し相撲の親方とはタイプが違いますが、長く現役を続けてこられた秘訣を伺って、とても参考になりました。親方は最近の力士は調子が悪くなった時に新しいことをやろうとしてケガをする、自分のやり方を守ってきたことが現役を長く続けられた理由だと教えてくださいました。確かに周りにはそういう人が多いし、自分自身も不調の時は何か新しいことをやってみようと思うことがありますが、親方の話を聞いてもう少し自分のやってきたことを信じて続けてみることにしようと思いました。この考え方は、自分が将来、相撲の指導をするようになった時にもきっと役に立つはずで、親方が言われたように、自分が一番輝ける道を見つけて、これからも努力していかなければ、と思っています。

こうやま たつや  
**神山 達哉**さん

社会学部教育学科 4年次生

岐阜県出身。愛知工業大学名電高等学校3年の時、体重別の全日本相撲大会(中量級)で優勝し、中量級の日本代表として世界大会に出場、団体が優勝した。大学入学後は、1年次に全国学生相撲個人体重別選手権大会で優勝(100kg未満)。昨年の全国学生相撲選手権大会では個人ベスト8の成績を取めた。現在、相撲部主将。卒業後は高校の教師になり、相撲の指導者になるのが目標。